

平成18年11月2日  
厚生労働省医薬食品局審査管理課  
(独)医薬品医療機器総合機構

「2006年APEC（アジア太平洋経済協力）医薬品等レギュラトリー・サイエンス  
・ネットワーク シンポジウム」の概要について

10月12日（木）午後及び13日（金）の1日半にわたり開催した「2006年APEC（アジア太平洋経済協力）医薬品等レギュラトリー・サイエンス・ネットワークシンポジウム」の結果概要を、下記のホームページに掲載したのでお知らせします。

記

ホームページ：<http://www.pmda.go.jp/>

(参考)

「2006年 APEC (アジア太平洋経済協力) 医薬品等レギュラトリー・サイエンス  
・ネットワーク シンポジウム」について

1. 会議のテーマ及び目的:

[テーマ] 医薬品のグローバル開発及びアジア諸経済の協力

ここ数年、アジア地域(韓国、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、中国など)で、医薬品の世界同時治験・開発が数多く実施されてきている。そのような状況下で、従来一つのまとまった地域として十分認識されていなかった、「アジア地域」の規制当局等が一同に会し、医薬品のグローバル開発とアジア諸経済の今後の協力について議論した。

2. 主催及び後援

主催: 厚生労働省、(独)医薬品医療機器総合機構

後援: 日本製薬工業協会

3. 主な参加者:

日本、韓国、シンガポール、タイ、チャイニーズ・タイペイ、米国等の規制当局、産業界 他

4. 開催日時・場所

1) 日 時: 平成 18 年 10 月 12 日(木)午後~13 日(金)

2) 場 所: ロイヤルパークホテル ロイヤルホール

(東京都中央区日本橋蛸殻町 2 丁目 1 番 1 号)